

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1029.90	2022/2/14
High	1098.79	2022/2/18
Low	1009.00	2022/2/16
Close	1071.00	2022/2/18

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3825.00	2022/2/14
High	4067.00	2022/2/18
Low	3755.00	2022/2/15
Close	3962.00	2022/2/18

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2313.00	2022/2/14
High	2404.00	2022/2/17
Low	2191.00	2022/2/15
Close	2349.00	2022/2/18

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	8585.00	2022/2/14
High	8889.00	2022/2/14
Low	8157.00	2022/2/15
Close	8692.00	2022/2/18



ニュースエクスプレス

米口間の政治的緊張でパラジウム 4% アップも、3ヶ月ぶりのプラチナ高騰に大きな注目

ゴールド価格が1900ドル近くまで上昇するという新たな局面を見せ、全ての貴金属が上がる中で、プラチナとパラジウムはともに貴金属セクター全体を上回る強気傾向となっている。

アナリストらによれば、米国とロシア間のウクライナを巡る情勢が緊迫する中で白金族金属の市場への供給が危ぶまれており、重大な事態となりかねない。

パラジウム市場の約40%を供給するロシアがもし輸出を制限すれば、既に供給不足となっているパラジウムが最も影響を受けるとしている。

「パラジウム市場に影響が及べば、価格は即、高騰するだろう。」とTD Securitiesでコモディティストラテジーを率いるBark Melekは語る。

パラジウム先物3月物の最後の取引価格は 2363.50ドルで、4%の上昇。

パラジウムが貴金属価格高騰の先頭をいく中で、注目を集めているのはプラチナの動きだ。プラチナ価格は3ヶ月ぶりの高値となり、非常に長く続いたトレンドラインを破る動きとなった。

プラチナ先物4月物の最後の取引価格は 1092.90ドルで、2.75%の上昇。アナリストの中には、昨年11月に高値となった1100ドルが重要な抵抗ポイントで、これを上回れば価格はさらに上昇すると見る動きがある。

<https://www.basf.com/global/en/media/news-releases/2022/02/p-22-135.html>

パラジウム価格高騰目前か、ウクライナ危機で供給リスク高まる

ウクライナ情勢を巡るロシアと米国間の緊張が続く、供給への懸念が高まれば、パラジウム価格はさらに上昇するかもしれない。ロシアは世界最大のパラジウム産出・輸出国。30年前からパラジウムは自動車触媒装置の中で有害な排気ガスを浄化するのに使われてきた。

さらに全くの偶然とは言えないのが、中国の中産階級の成長で自動車販売の増加がさらにパラジウムの需要を押し上げていることである。ディーゼルエンジンの浄化触媒装置に使われるプラチナの需要も増えているが、パラジウムを使うガソリン車の需要の方が多いため、結果パラジウム価格の高騰につながっている。

さらにコロナ禍後、回復基調にある世界の需要、中国の成長回復による需要増に拍車をかけているのがパラジウムのサプライチェーンの複雑さだ。パラジウムは通常、ニッケル採掘の副産物として産出されるため、サプライチェーンに送られる前に選鉱と精鉱という段階を経なければならない。

供給までにかかるこの時間の長さが、これまで何十年も乱高下を引き起こす主因となりながらも価格を支えてきたが、コロナ禍による経済の中断とその後の急激な回復、さらにロシアに対する地政学的な緊張の高まりとで、足元の需要が高まったことにより、スポット価格が先物価格を上回る極端なバックワーデーションを引き起こしている。

構造的な要因と外因が絡み合ってパラジウムの強気傾向は確実なものと思われる。ロシアとの緊張関係は、長期的には貴金属価格の動きには比較的關係がないかもしれないが、短期的には地政学的情勢に対応するための取引が見られるかもしれない。

<https://www.nasdaq.com/articles/nornickels-core-earnings-jumped-37-in-2021>

Translated by JBMA Osawa KAZUKO



WPIC直近の活動

- 風力発電による水素製造において、洋上風力発電が増えているのは、洋上に十分な風力がある地域では、洋上で発電された電力を地上に送電する費用をかけずに、直接グリーン水素の恩恵を受けることができるからである。詳しくはプラチナ豆知識「風力から水素」(2022年2月16日)をご覧ください。 <https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2022/02/16>



(@wpicjapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。